

## 한통련 뉴스레터

제83호

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

## ●「反朝鮮ビラVS汚物風船」…ビラ散布中止・拡声器宣伝中止・軍事合意順守で南北対決の回避を

平和を破壊する尹政権を糾弾する緊急キャンドル行動  
(6・7、ソウル)

## 反朝鮮ビラVS汚物風船

脱北者団体「自由北韓運動連合」は5月10日、金正恩(キム・ジョンウン)体制を批判するビラ(反朝鮮ビラ)30万枚やUSB2000個などが入った大型風船を朝鮮側に飛ばした。これに対し朝鮮側は、ごみなどの汚物がぶら下がった風船(汚物風船)を28日から29日に約260個(韓国側発表)、6月1日から2日に約600個(同)を韓国側に飛ばす対抗措置を取った。

## 韓国「あらゆる措置」、朝鮮「暫定中断」

韓国政府は31日、朝鮮の挑発に遺憾を表明し、「(挑発を)止めなければ、耐えられないようなあらゆる措置を取る」と警告。申源湜(シン・ウォンシク)国防部長

官は6月2日、アジア安全保障会議が開かれているシンガポールで米国のオースティン国防長官と会談。両長官は汚物風船を韓国に飛ばすことは朝鮮戦争の停戦協定違反にあたるとの認識を再確認し、朝鮮を非難した。

朝鮮のキム・ガンイル国防次官は2日夜、朝鮮中央通信を通じて談話を発表。汚物風船を韓国に飛ばすことを暫定的に中断すると発表し、韓国側が朝鮮へのビラの散布を再開すれば風船を再び飛ばすと警告した。談話は風船を飛ばすことは「徹底した対応措置」だとし、韓国のビラ散布が再開された場合、「発見された量と件数に応じて百倍の紙くずと汚物を再び集中散布する」と警告した。また「5月28日夜から6月2日未明までごみ15トンと各種器具約3500個で韓国の国境付近と首都圏地域に飛ばした」と主張した。

韓国政府は4日、閣議決定と大統領の承認を経て、南北間の相互信頼が回復するまで、2018年に結んだ南北軍事合意(9・19軍事合意)の効力を全面停止することを決めた。これを受け、国防部は4日、南北軍事合意により制約のあった軍事境界線付近と西北島しょ一帯で韓国軍のあらゆる軍事活動を再開すると発表した。

## 韓国政府、ビラ散布を放置

統一部の具炳杉(ク・ビョンサム)報道

官は3日の定例会見で、民間団体にビラ散布の自粛を要請するかを問われると「ビラ散布問題は、表現の自由の保障という憲法裁判所の決定の趣旨を考慮して対応している」と述べ、自粛を要請しないというこれまでの立場を改めて示した。尹熙根（ユン・ヒグン）警察庁長も10日、ビラ散布を制止する法的根拠がないとの認識を明らかにした。

自由北韓運動連合は6日未明、反朝鮮ビラ20万枚を大型風船10個を使って飛ばした。韓国軍によると、朝鮮側は8日、汚物風船を韓国に向けて飛ばした。朝鮮は2日に汚物風船を暫定中断すると発表したが発表したが再開した。

6・15南側委員会、全国民衆行動、民主労総、平和統一市民行動など市民社会団体のメンバーは7日夕方、ソウル市内で「緊急キャンドル行動」を展開。9・19南北軍事合意を破棄し平和を破壊する尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を糾弾し、「対朝鮮ビラ散布の中止と陸上海上砲射撃訓練の中止」を求めた。同行動は13、15日にも実施。

### 対朝鮮拡声器宣伝、再開

大統領室は9日、緊急の国家安全保障会議を開き、汚物風船への対抗措置として、同日中に南北軍事境界線付近に拡声器を設置し、朝鮮への宣伝放送を再開することを決定。韓国軍は同日午後、宣伝放送を再開した。

「共に民主党」のイ・ヘソク首席報道担当は9日、「南北軍事合意の効力停止により偶発的衝突の可能性が憂慮される状況で、拡声器による宣伝放送は極地戦にまで飛び火する危険をはらんでいる」と指摘。

「汚物風船による挑発は対北ビラが原因」だとした上で、政府は「表現の自由」を口実に事態を放置していると批判し、国民の生命と安全のために対北ビラを阻止すべきだと主張した。また、政権危機を回避し免れるために北の挑発を局面転換に利用しているのならば、国民は受け入れないだろう」と警告した。

進歩党のユ・ジョンオ、チョン・ジョン

ドク、チョン・ヘギョン議員は10日、国会で記者会見を開き、「対南・対北ビラの中止、朝鮮半島の平和実現のための国会決議案」を提案した。

朝鮮労働党の金与正（キム・ヨジョン）副部長は9日に談話を出し、韓国が朝鮮の体制を非難するビラの散布と南北軍事境界線付近で拡声器を使った宣伝放送を並行して行う場合、「新たな対応を目撃することになる」とし、「これ以上対決の危機を招く危険な行為を直ちに中止し、自粛することを嚴重に警告する」と表明した。朝鮮中央通信が伝えた。

### ビラ散布中止・拡声器宣伝中止・軍事合意順守で南北対決の回避を

脱北者団体の対朝鮮ビラ散布から始まった朝鮮への宣伝戦・心理戦は朝鮮の汚物風船による対応措置を招いたが、朝鮮側が一旦、中断を表明したことで事態は収束するかに思われた。

しかし、尹政権は憲法裁判所が判示した「表現の自由」を口実にビラ散布を放置し事態を悪化させながら、「（挑発を）止めなければ、耐えられないようなあらゆる措置を取る」として、9・19南北軍事合意の効力を停止すると同時に拡声器による宣伝も再開し、南北の対決を激化させ軍事緊張を一気に高めている。

結果には原因がある。対朝鮮ビラの散布が汚物風船の飛来を招いたのであり、ビラに対する尹政権の姿勢が朝鮮を刺激したのは明らかだ。

「表現の自由」に名を借りた朝鮮への挑発行為であるビラ散布を即時中止させ、拡声器による宣伝を即時中止し、南北軍事合意を復元して相互順守することにより、南北対決から軍事衝突へと向かいかねない現状をまずは回避することが、国民の生命と安全、財産を守る政権が果たすべき使命だ。尹政権にそれが不可能ならば、退陣を求める声はさらに高まるだろう。

●【記事紹介】 民主労総が民主党院内代表団と懇談会を開催…ヤン・ギョンス委員長「尹大統領の拒否権法案処理が宿題、至急に解決すべき」



民主労総と「共に民主党」の懇談会（6. 10、民主労総本部）

「共に民主党」院内代表団、10日に民主労総を表敬訪問／パク・チャンデ院内代表「民主党に失望しただろう、行動する民主党になる」

民主労総執行部と「共に民主党」院内代表団が懇談会を開催し、第22代国会に向けた課題などを協議した。民主労総の機関紙「労働と世界」（6月11日）から紹介する（一部省略）。

パク・チャンデ「共に民主党」院内代表とキム・ジュヨン環労委幹事、ユン・ジョングン院内報道担当、チョン・ジヌク院内代表秘書室長、パク・ヘ Chol 対外協力委員長、キム・ヒョンジョン議員が6月10日午前、民主労総を訪問した。民主党院内代表一行は1時間ほどヤン・ギョンス民主労総委員長をはじめとする民主労総執行部と懇談会を持った。

ヤン委員長は尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の2年間、労働者・庶民の苦痛が加重されている現実を指摘し、「第21代国会に対する期待が大きかったが、良い点数を与えることは難しかった」と語った。ヤン委員長は続けて「『国民の力』や保守勢力の妨害ももちろんあったが、民主党の意志の限界が明確だった」としながら、「第22代国会では民主党がこの限界を突破し克服しなければならない」と指摘した。

パク院内代表も第21代国会で民主党が限界を示したことを認めた。パク院内代表は「第21代国会とは異なり、実践する国会、行動する民主党をスローガンとして掲げている以上、言葉ではなく行動と成果で示す」と応じた。

民主労総は民主党議員らに民主労総の6大核心要求（△労組法2・3条の改正△5人未満の事業場に労働基準法の全面適用△産別交渉の制度化△週4日制、労働時間の上限の導入△富裕層への増税と福祉財政の拡大△社会保険、医療、ケア、エネルギーへの国家責任と公共性の強化）を伝えた。パク院内代表は「民主労総の政策提案が総選挙時に民主党の政策を樹立する上でも多くの助けになった」とし、「労働が尊重される社会を早めるために民主党が最善を尽くす」と述べた。

民主労総は特に第22代国会の至急な課題として、最低賃金の差別適用を防ぐことと依然として続く建設労組への弾圧を中止することを提起した。

民主労総執行部と民主党議員らは尹政権の反労働政策に対応するため、意志疎通の窓口を準備する必要性でも意を共にした。事務金融労組委員長出身のキム議員は「民主党と民主労総が相互の信頼を築き労組員にも信頼されるためには、民主党が労働界の要求を受けて満足するに値する成果を出さなければならないが、この間そうではなかった」とし、「このため両者が意思疎通できる常設窓口が設けられる必要がある」と語った。

懇談会には、民主労総側からイ・テファン首席副委員長、コ・ミギョン事務総長、イ・ヤンス副委員長、イ・ミソン副委員長、ハン・ソンギョ副委員長、ホン・ジウク副委員長が参加した。

原文

<https://worknworld.kctu.org/news/articleView.html?idno=504753>

## ●都内で汚染水海洋投棄抗議行動…李俊一事務長がアピール



アピールする李俊一事務長

「さようなら原発1000万人アクション実行委員会（実行委員会）」は5月24日、首相官邸前で「5・24放射能汚染水を止める！ 官邸前抗議行動」を開催した。

実行委員会から主催者あいさつ。「岸田政権は現在エネルギー基本計画を審議しているが、原発の最大限の活用を主張している。まるで福島事故がなかったかのよう

だ。汚染水は、汚染された土壌から新たに発生し続けておりまったく減っていない。政府の原子力政策は破綻している。引き続き抗議の声をあげていこう」と語った。

反原発団体や市民団体などがアピールする中、韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長がアピール。「韓国では2013年から福島など東北、北関東からの水産物を禁輸している。汚染水を放出している限り禁輸が解かれることはなく、結局最も打撃を受けるのは福島の漁民たちだ」と主張。

「韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は、汚染水放流を容認した共犯者だ。わたしたちは、このような尹政権を退陣させ、汚染水放流反対の国際世論をいっそう高めていきたい。ともに闘っていこう」と語った。

参加者全体でシュプレヒコール。「放射能汚染水放出をやめろ」「これ以上海を汚すな」と訴えた。

## ●「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」が月例行動



アピールする宋世一委員長

日東電工の100%子会社である韓国オプティカルハイテック（慶尚北道亀尾市）では、2022年10月の工場棟火災を口実に工場の廃業と労働者の解雇が行われ、全国金属労組亀尾支部韓国オプティカルハイテック支会の組合員11人が現在、会社側に雇用継承を求めている。

同支会の訴えに積極的に応えようと1月

25日に結成された「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会（共同代表 渡邊洋全労協議長ら5人）」は、毎月第4月曜朝、日東電工東京本社（品川シーズンテラス26階）への抗議申し入れと品川駅前での宣伝を展開している。

5月27日の行動では韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長がアピール。宋委員長は尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権による労働弾圧を糾弾すると共に、前日の韓日首脳会談に言及した上で、尹政権は韓日関係の「改善」を維持するために、日本政府の意向に沿いながら韓日間の懸案を封じ込めており、同支会への弾圧もその一環だと指摘した。

当日、26階へのエレベーターを止めて抗議申し入れを遮断するという暴挙に出た日東電工に対し、支援する会メンバーは抗議の声を力強くあげた。

## ●韓国良心囚を支援する会全国会議が「2024年全国運動出発集会」を開催



報告する迫田事務局員

「韓国良心囚を支援する会全国会議（全国会議）」は6月6日、都内で「2024年全国運動出発集会」を開催した。

渡辺一夫代表が主催者あいさつ。今年1月に急逝した石井寛事務局長を悼みながら「救援運動をはじめて50年以上がたった。当時は命と人権さえ保障されればと思いき運動し、釈放を勝ち取ってきた。現在の課題は再審無罪だ。これからも一人でも多くの良心囚の再審無罪を勝ち取るため努力していきたい」と語った。

良心囚の人生を追ったドキュメンタリー

作品「スパイ」上映後、「アジア共同行動日本連絡会議」の迫田英文事務局員が「韓国総選挙の結果と今後」と題し講演。迫田氏は、4月10日の韓国総選挙で野党が大勝した原因について「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権に対して国民の審判が降りたということだろう」と分析。「総選挙の中で『尹政権審判』が主要な 이슈となり、国家保安法や駐韓米軍など韓国社会の根本的な課題についての言及が少なかったことが残念だ」とし、今後の課題として進歩勢力の躍進をあげた。

全国会議から活動報告。5月28日、韓国から「金槿泰（キム・グンテ）記念治療センター」のメンバーが大阪を訪問し支援団体と交流。全国会議が「在日韓国政治犯を救った日本の市民たち」の一員として紹介され、感謝盾を贈呈されたと報告した。

元良心囚の金元重（キム・ウォンジュン）氏、尾澤孝司氏が連帯あいさつ。韓国社会の状況や韓国オプティカルハイテック労組支援と裁判闘争について報告された。

## ●大阪で「イム・イジンさん招請講演会」を開催…韓国社会の課題を共有



講演するイム・イジン氏

6月9日、大阪市内で「イム・イジン氏招請講演会」が開催された。主催は韓統連大阪本部を中心とした招請委員会。イム・イジン氏の著書「数字の社会」は2023年に韓国でベストセラーとなった。

「在日韓国良心囚同友会」の李哲（イ・ Chol）代表が主催者あいさつ。「『数字

の社会』は韓国の社会矛盾を指摘した話題の著書です。今日は講演を通じて問題の本質と解決方法について共有しましょう」と語った。

イム・イジン氏が「韓国社会 数字追求の裏の欲望」をテーマに講演。イム氏は講演の中で、現在の韓国社会を「お金を追い求めている韓国社会」と表現し、「多くの人々が何もしないと敗北者になるという恐怖心から、すべての手段を動員して高騰するマンションを購入するなど資産増大欲望にかられている」と指摘した。また、「韓国人は中間層意識が強く、社会の普遍的基準に合っていて、他人から見て恥ずかしくない中間層になろうと考え、その結果、終わりのない競争が起こり、満足と多様性が不在になる」と述べながら、「違いに対して寛容であり、社会が求める成功でなくても、自分らしい生き方ができる社会をつ

くっていかなければならない」と強調した。

講演後、活発な質疑応答が行われ、韓統

連大阪本部の金昌範（キム・チャンボム）代表委員が閉会あいさつした。

## ●「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」が院内集会を開催



報告する中田氏

「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」は6月11日、「6.11院内集会 国連・ビジネスと人権に関する指導原則から問う！ 強制動員企業の人権感覚と企業倫理」を開催した。

シンポジウムでは「日本製鉄元徴用工裁判を支援する会」の中田光信氏、「移住連」の鳥井一平共同代表理事、神奈川大学の山崎公士名誉教授が登壇。

中田氏はILO条約に関して解説。「ILO条約では企業による強制労働の撤廃が目標として掲げられている。日本性奴隷問題や戦時産業強制動員問題はILO条約違反として何度も解決するように求められている」と強調した。

鳥井氏は外国人技能実習制度の問題点を中心に報告。「技能実習制度は表向き実習とされているが、実態は奴隷労働と言うに等しい劣悪なものだ」と指摘。「強制労働など、過去の問題をきちんと捉え反省してこそ、現在の問題も解決することができるだろう」と語った。

山崎氏は2011年に国連で採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」について報告。「現在、グローバル・ノース諸国や多国籍企業は人権侵害から労働者を保護する指導原則を尊重・順守する姿勢を示している」と解説。「強制動員問題の被害者が救済されていない以上、現在も続いている問題だ。企業に対して指導原則を順守し、問題解決を要求するアプローチが必要だろう」と語った。

韓国から民族問題研究所の金英丸（キム・ヨンファン）対外協力室長がオンラインで参加。韓国の強制動員裁判の現状を報告し、「国際的な連帯により企業倫理をより周知させ、企業を追い詰めていきたい」と主張した。

## 행사예정 行事予定

7月

情勢学習会(神奈川)

日時: 7月21日(日) 午後2時開始 場所: ミューザ川崎 内容: 情勢講演(講師: 李俊一(イ・チュニル) 事務長) 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (文)

8月

在日コリアン青年学生のための本当の韓国発見ツアー「チンチャコリア」

日時: 8月10日(土)～12日(月・休) 内容: 光復節記念大会、韓国青年学生との交流、DMZ(非武装地帯)平和紀行、都羅山統一展望台、ソウル市内観光など 参加費: 30,000円(食事・宿泊など現地滞在費、航空便は各自手配) 主催: 在日韓国青年同盟 連絡先: 03-4400-5331 (韓)

編集後記  
共同行動の院内集会(報告記事)に参加しました。特に衝撃的だったのが技能実習生の報告で、まるで植民地時代のようなひどい待遇に胸が痛み、怒りが湧きました。こんなことを続けている限り、日本は国際社会から孤立する一方です(李)



# 青年学生のための 在日コリアン 本当の韓国発見ツアー

アンケートに答えた人の中から  
抽選で3名様を  
無料招待!

本当の韓国

# 진짜 코리아 チンチャコリア



## アンケートに答えて、本当の韓国を探しに行こう!

- **参加対象** 16才から28才までの朝鮮半島にルーツを有する方。韓国・朝鮮・日本など国籍は問いません。
- **行先** 韓国・ソウル、DMZ(非武装地帯)、都羅山統一展望台など
- **日程** 2024年8月10日(土) ~ 12日(月・祝)

- 8月10日(土)
  - ・ 午後1時、現地集合(ソウル市内)
  - ・ 光復節記念大会 ※光復節：日本の植民地支配から解放された1945年8月15日を記念する祝日
  - ・ ウェルカムパーティー(韓国現地青年学生との交流会)
- 8月11日(日)
  - ・ DMZ(非武装地帯)平和紀行、都羅山統一展望台など
- 8月12日(月・祝)
  - ・ ソウル市内観光など
  - ・ 午後1時、現地解散(ソウル市内)

※航空便は各自で手配してください。※内容は変更がありえます。

- **参加費** 3万円：宿泊(2泊)・食事(6食)など現地滞在経費 ※航空運賃は別途各自で負担

### 特典

アンケートに答えた人の中から抽選で3名様を無料招待します。

参加費3万円は免除で、航空運賃相当分として5万円を支給します。

当選者の発表は7月25日(木)。本人に通知するとともにホームページで公表します。

受付期間：2024年5月20日(月)～7月20日(土) [応募方法など詳しくは裏面へ](#)

本件に関するお問い合わせは下記までお気軽にどうぞ!

✉ メール: [chuo@hanchung.org](mailto:chuo@hanchung.org) / ☎ TEL:03-4400-5331

在日韓国青年同盟 | 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302





いつでも  
どこでも  
水洗トイレ!

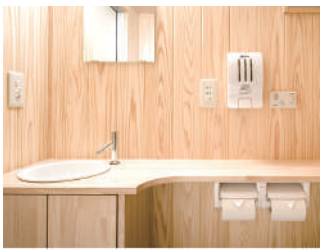
# 自律式移動型水洗トイレ サラオ

国交省認定『快適トイレ』

広々、キレイ、置くだけ。ソーラーパネル付きなら電力も不要。

太陽光設備と蓄電池設備を備えた自律式移動型水洗トイレです。電気や上下水道の設備が整っていない環境でも設置できます。最新式の便器を使用し、温水洗浄暖房便座を完備しています。家庭用トイレと変わらない外観・内装なので、安心して清潔な水洗トイレを利用することができます。

汚水タンクには脱臭効果のある土壌被覆がされており、臭いがしません。外部コンセントが付いているため携帯電話の充電や電化製品等が使用できます。工事現場だけでなく災害などの緊急時にも対応可能です。移動式クレーン車で運搬ができ、設置撤去が簡単です。



快適トイレ  
適合商品  
NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品  
CB-160028-VR

快適トイレ  
適合商品  
NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品  
CB-160028-VR

快適トイレ  
適合商品  
NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品  
CB-160028-VR

広さ約2倍以上。着替えもできます!

広さは一般的な仮設トイレの約二倍。着替えもしやすく、お子様と一緒に入れるなど、女性に優しい空間です。

女性に嬉しい、水洗トイレの清潔感!

簡易水洗ではなく、家庭と同じ水洗トイレだから清潔に保たれます。衛生面でも安心です。

使いたい場所に、使いたい期間だけ。

リフトやトラックで運搬できるため、設置場所を選びません。必要な場所にお届けします。



【大型駐車場 SII型】



【災害避難所 駐車場/SII型】

熊本地震の際に、災害ボランティアセンターでご利用していただきました。地震では上水管と下水管が甚大な被害を受けます。災害ボランティアセンターに設置し多くの方にご利用いただきました。鏡もあり、着替えもでき、当たり前の水洗トイレがうれしいという声を頂きました。



【ラグーナビーチ SII型】

屋外結婚式に使用しました。



【駅前工事現場 SII型】

駅の再開発工事でサラオ SII型を採用していただきました。多くの方が働く現場ですので、タンクに給水が不安の上水を直結。下水は仮設の下水を引いていただき、それに直結しました。女性の警備員さんに大変喜んで頂いたのがうれしい思い出です。



【キャンプ場 WI型】

大自然に囲まれキャンプをする中でも、仮設トイレ特有の不快感や違和感はありません。快適に過ごせることをお約束します!

安全とエネルギーと環境を創造する

Gテクノ株式会社

<https://www.g-techno.jp/>

お問合せの際は  
下記フリーダイヤルまでご連絡下さい。

サラオ イイナ



0120-360-117